

8. チーム編成

- (1) 監督1名、コーチ2名以内、選手数は制限しないが背番号のない者は試合に出られない。
- (2) 小学生の部は1年生～6年生、中学生の部は1年生～2年生で編成し、ベンチ入り人数は制限しない。

9. 競技方法及び組合せ トーナメント戦及び総当たり戦。組合せは別紙のとおり。

10. 競技規則

- (1) 2021年公認野球規則を準用する。ただし1ゲーム7回戦とする。
- (2) 試合時間は、小学生の部の決勝戦・3位決定戦以外は1時間20分を越えたら新しいイニングに入らずそのイニングをもって決し、3位決定戦は1時間40分を越えたら新しいイニングに入らず、そのイニングをもって決する。決勝戦は時間制限を設けない。
中学生の部の決勝戦以外は2時間を越えたら新しいイニングに入らず、そのイニングをもって決する。決勝戦は時間制限を設けない。
なお、開始時間及び試合時間については天候等により変更する場合がある。(変更周知は試合開始前までに行う)
- (3) 投手の投球回数制限は、小学生の部は故障防止のため「同一投手の1日の投球回数を7イニング以内」に制限する。(1日に2試合以上ある場合の制限例：1試合目に4回1/3を投げた投手の2試合目は2回以内とする)
中学生の部は適用しない。(各チームにて故障防止に配慮ください)
- (4) 5回以降7点差が生じた場合はコールドゲームとする。
- (5) 7回終了時に同点の場合、または時間制限のため同点で終了したときは、引き続きタイブレーク方式を採用する。この場合は継続打者から攻撃し、その前の打者を1塁走者、2・3塁の走者は順次前の打者として無死満塁から1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返す。
上記特別延長を2イニング(決勝戦のみ最長3イニング)行っても勝敗が決しない場合は、最終ポジション9名ずつによるジャンケン(9組一斉)を行い勝者の多い方を勝ちとする。
- (6) 総当たりリーグ戦の結果で、1位のチームは翌日の決勝戦、2位のチームは翌日の3位決定戦に進出する。また、最終の勝敗が全チーム1勝1敗となった場合は、失点数の少ないチームを上位とし、同点の場合は主将のトス(ジャンケン)により決する。
- (7) 日没及び降雨コールドゲームは5回以降適用し、それ以前の場合は継続試合とする。
- (8) 登録選手以外はコーチボックスに入れない。
- (9) 抗議は監督のみとし、それ以外は受け付けない。
- (10) グラウンドローカルルールについては、当日の監督会議で連絡する。

11. 試合、大会参加上の確認事項と注意

- (1) 試合前のシートノックは各チーム両日とも初戦のみ7分間とする。
(シートノック時は、補助員もヘルメット着用すること)
- (2) ベンチは若い番号のチームが1塁側とする。
- (3) メンバー表については、第1試合のチームは本部の指示に従い、第2試合以降のチームは前の試合4回終了時に本部へ提出し、その際ジャンケンで攻守を決定する。メンバー表は各チームで用意し、4部提出する。(汎用でよい) ※監督及び主将出席
なお、その際に健康チェックシートの提出を義務付けする。【監督、コーチ、選手、応援者(1家族2名以内)などすべての関係者を記載する】